

fol.

会期 | 2014/10/14[火]-11/5[水] 11:00-17:00 日休

*10/21-24および10/28-30は休廊, 10/26は開廊

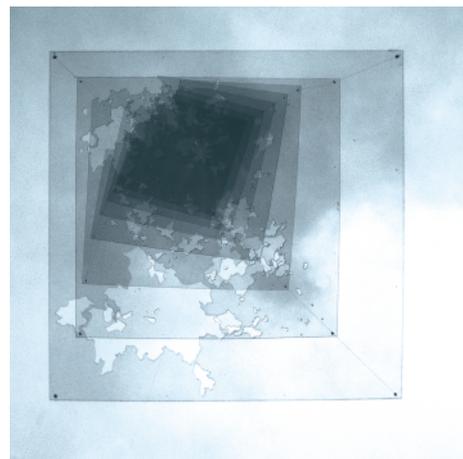
10/14 15 16 17 18 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31
11/1 3 4 5
OPEN

会場 | Gallery of The Fine Art Laboratory **gFAL**

〒187-8505 東京都小平市小川町1-736 武蔵野美術大学2号館1階

企画 | 武蔵野美術大学日本画学科研究室 tel. 042-342-6050

※10/16[木] 16:30よりアーティストトーク, レセプションを行います。



fol. / 2014年

これまで、壁や地面とそれらに直接触れる、一般的に空間と言われるものに興味を抱き、制作してきた。壁や地面が持つ美しさはもちろん、それらが機能として持つ分けることや繋げることにも関心を持ち、そのイメージを、点や線を反復して描く平面的な作業と、その画面の中に私達人間が実際に入り込む形に作り上げる立体的な作業を通して表現しようと模索してきた。

今回、地面のレンガや階段や川原の石といった地面に^{おぼろげ} 夥しく広がるものを、眺めたり数えたりする中で、後続するとは何かと考え、‘{ … <and so on> }’ というシリーズ作の制作を開始した。

シリーズタイトルの‘…’という記号は会話文で、沈黙や余韻、含みを持たせるような用法もあるが、ここでは【以下同様に続く】という意味を持つ。

【続く】と一口に言っても、様々な形態、形式があるが、私達は普段先行するものにあまり関係なく、この記号を後ろにつけて使用している。頑張ればズラズラと並べあげられるものもあれば、キリなく続いていくものもある。線型的であるのもあれば、枝分かれしたり循環したりもする。

例えば、[田中、鈴木、佐藤、…], [ネズミ、ウシ、トラ、ウサギ、…], [0.123123123…], [0,1,2,…,n,…] ……

こうした記号は日常言語でも使用されるので、厳密に考えようとすると、どうしても曖昧で不正確さが目につくことになるが、適切な条件の下使用すれば、【続く】ということをよく直観に訴えてくれる。

数学者の高木貞治は『数学雑談』の中で「自然数 {1, …} の主要部は頭部でなくて末尾の……である。」と述べている。自然数に限らず、正しく使用された……や後続することについて、時折イメージを膨らませたり、考えたりすることは意義のあることではないだろうか。

今回の展示 ‘fol.’ は{…}シリーズの第一作目に当たる。この作品では、300×300mmを基本としたアクリル板を任意の形に切り抜き、ギャラリー内に配置することで、後続するということに対するイメージを表現しようと試みている。

なお、‘fol.’ は、followingの略で、【次の、以下】という意味になる。

萩谷但馬

作家略歴

1987年 東京都生まれ

2010年 武蔵野美術大学造形学部日本画学科卒業

□主な個展・作品発表

2014年 □ 第17回岡本太郎現代芸術賞展 (川崎市岡本太郎美術館)

2012年 - [Blank] Tajima HAGIYA 1st Exhibition (府中市美術館 市民ギャラリー)

2010年 P-P'-P'' 武蔵野美術大学卒業・修了制作展、優秀作品展 (武蔵野美術大学)

□主なグループ展参加

2011年 『50:50』(ART BOX Gallery)

2010年 越後妻有 大地の祭り 2010 夏『線描の悦び -素描と日本画の作品を中心として-』(越後妻有 田野倉集落古民家)

Eco Shift Taito 2010『線描再考 -Reconsider Drawing-』参加 (マキイマセルフファインアーツ)

2009年 越後妻有トリエンナーレ 内田あぐり+内田亜里+武蔵野美術大学日本画学科内田ゼミワークショップ(越後妻有 田野倉集落古民家)

gFAL (ジーファル) は2002年に発足した武蔵野美術大学内のギャラリーです。油絵研究室を企画母体として、日本画学科研究室、彫刻学科研究室、版画研究室の協力により、展示会の企画運営を行なっています。新しいスペースへの移転のため、2006年から一時活動を休止していましたが、2008年度から新校舎2号館1階にリニューアルオープンいたしました。gFALは本学の卒業生を中心とした有望な若手アーティストの表現の発信地であり、開かれた大学内ギャラリーとして機能していくことを目指しています。また、「ラボラトリー/実験室」という名が示すとおり、参加アーティスト、企画者、観客、それぞれにとってスリリングな実験の場でもありたいと考えています。本格的に活動を再開したgFALの活動にご期待下さい。